




成人看護学⑤






リハビリテーション看護

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>セルフケア再獲得モデル モデル (7分16秒)</p> <p>🔊</p>		<p>セルフケア再獲得モデルは、生命維持レベルのセルフケア、生活基本行動レベルのセルフケア、社会生活レベルのセルフケアの3つの異なる次元のセルフケアの存在をもとに分類したものである。</p>	<p>2章 リハビリテーションに用いられる主要な概念</p> <p>■ 4 セルフケア</p>
<p>日常生活自立支援事業 (4分59秒)</p> <p>🔊</p>		<p>認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で、判断能力が不十分な人に地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行う日常生活自立支援事業の概要について解説する。</p>	<p>3章 リハビリテーションにおける倫理、法律、施策</p> <p>■ 4 障害者を支えるサービス</p> <p>2 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ</p>
<p>胸郭と臓器 (25秒)</p> <p>🔊</p>			<p>5章 身体機能のメカニズムとアセスメント</p> <p>■ 1 呼吸</p> <p>1 呼吸機能のメカニズム</p>
<p>呼吸と横隔膜 (15秒)</p> <p>🔊</p>		<p>横隔膜と肋間筋が同期して収縮すると、胸壁が広がって胸腔の前後径が増大し、横隔膜は下方に動いて胸腔が上下に広がるため、胸腔の容積が増す。安静時と吸気時の肺と横隔膜の動きに注目。</p>	<p>5章 身体機能のメカニズムとアセスメント</p> <p>■ 1 呼吸</p> <p>1 呼吸機能のメカニズム</p>
<p>心臓 (57秒)</p> <p>🔊</p>		<p>回転映像</p>	<p>5章 身体機能のメカニズムとアセスメント</p> <p>■ 2 循環</p> <p>1 循環機能のメカニズム</p>
<p>刺激伝導系 (1分53秒)</p> <p>🔊</p>		<p>心臓は血液を全身に送り出すポンプである。洞房結節は心臓のペースメーカーとして周期的に刺激を生成する。その刺激を刺激伝導系を介して心臓全体に伝えることによって、心臓全体として調和のとれたリズムで収縮拡張を繰り返している。</p>	<p>5章 身体機能のメカニズムとアセスメント</p> <p>■ 2 循環</p> <p>1 循環機能のメカニズム</p>
<p>骨格筋と筋原線維 (1分32秒)</p> <p>🔊</p>		<p>筋肉は筋細胞の集まりであり、筋細胞は無数の筋原線維より構成される。アクチン、ミオシンなどの作用により、筋原線維が収縮・弛緩し、関節運動が可能となる。</p>	<p>5章 身体機能のメカニズムとアセスメント</p> <p>■ 3 運動</p> <p>1 運動機能のメカニズム</p>

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
興奮情報の伝導 (1分22秒)		ニューロンの働きは別の部位に情報を速やかに伝えることである。ニューロンが刺激されると電位差が生じ、情報が次々と伝わっていく。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■3 運動 1 運動機能のメカニズム
関節可動域訓練 (ROM 訓練) (6分35秒)		ROM 訓練は、回縮した関節運動の改善や拘縮予防のために行われる。無理な運動をして脱臼や骨折を引き起こさないように注意することが大切である。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■3 運動 2 運動機能障害のアセスメント
運動機能障害のフィジカルアセスメント (病室での一例) (9分25秒)		運動機能障害をもつ患者へのフィジカルアセスメントについて、事例を提示しながらアセスメントのポイントを紹介。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■3 運動 3 日常生活への影響
移動に関わる機能のアセスメント (7分36秒)		90代女性を例に、関節の動き（関節可動域）や体の動き（下肢の機能評価）についてのアセスメントを行う。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■3 運動 3 日常生活への影響
呼吸と嚥下 (48秒)		口腔から咽頭までの間は、呼吸のためのはたらきと摂食・嚥下のためのはたらきの両方の機能を有している。呼吸と嚥下、それぞれの動きを理解しよう。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 1 摂食嚥下機能のメカニズム
食道・胃・十二指腸 (4分40秒)		内視鏡の視点から、食道の動きや胃の構造・動きを見る。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 2 摂食嚥下障害のアセスメント
嚥下障害 (嚥下造影検査：VF) (1分)		嚥下の正常例と咽頭期嚥下障害の X 線画像を提示する。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 2 摂食嚥下障害のアセスメント

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
消化器系 (1分22秒) 		回転映像	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 3 栄養代謝のメカニズム
胃の構造 (1分26秒) 		胃は横隔膜の左下に位置し、胃酸などの消化液を分泌して、食物の消化を行う。それには主細胞から分泌されるペプシノゲンやG細胞から分泌されるガストリンが関与する。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 3 栄養代謝のメカニズム
通路としての消化管 (1分40秒) 		口腔内から消化管へ取り込まれた食物は、食道を経由して胃で消化される。そこで粥状になった食物は十二指腸を通り小腸で吸収される。吸収されなかった残渣は大腸で大腸菌などに分解され再吸収される。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 3 栄養代謝のメカニズム
小腸の構造 (1分3秒) 		小腸は直径3～4cm、長さ6～7mの管状の消化器で、食物の大部分はここで吸収される。表面は絨毛で埋め尽くされ、吸収のための面積を広く取っている。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■4 栄養 3 栄養代謝のメカニズム
腎臓の働きと腎不全に関する基礎知識 (2分59秒) 		腎臓の四つの働き（体液の恒常性の維持、血圧の調節、エリスロポエチンの産生、ビタミンDの活性化）について解説する。前2者が障害された場合は透析治療で解決でき、後2者に対しては製剤の投与が治療法となる。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■5 排泄 1 排泄のメカニズム
濾過と再吸収のしくみ (1分44秒) 		泌尿器は腎臓・尿管・膀胱により構成され、腎臓は老廃物の濾過と再吸収に重要な器官である。尿は糸球体を経由して99%が再吸収される。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■5 排泄 1 排泄のメカニズム
脳神経 (26秒) 		回転映像	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■7 高次脳機能 1 高次脳機能のメカニズム

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
脳梗塞患者の看護 (失語症) (2分35秒) 音		脳梗塞患者とのコミュニケーションのとりかたの例を提示し、看護のポイントを紹介する。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■7 高次脳機能 2 高次脳機能障害のアセスメント
コミュニケーション機能のアセスメント (17分42秒) 音		90代女性を例に、視力や聴力、記憶力の検査など、コミュニケーション機能についてのアセスメントの実際を提示する。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■7 高次脳機能 2 高次脳機能障害のアセスメント
眼球の動きと神経支配 (2分) 音			5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■8 視覚 1 視覚のメカニズム
視覚の遠近調節 (1分19秒) 音		眼球のレンズの役割をする水晶体は、チン小帯の張力により厚みが変化し、遠近調節が行われる。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■8 視覚 1 視覚のメカニズム
視野欠損と視覚路の障害部位 (31秒) 音		視神経(視覚路)の障害部位と、それによって発生する視野欠損との関係について解説する。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■8 視覚 1 視覚のメカニズム
聴覚伝導路のしくみ (1分31秒) 音		聴覚器は外耳、中耳、内耳より構成されており、外耳は耳介と外耳道、中耳・内耳は鼓膜・耳小骨・蝸牛などで構成されている。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■9 聴覚 1 聴覚のメカニズム
平衡覚伝導路のしくみ (1分18秒) 音		平衡覚は内耳で認識される。内耳の平衡斑にある平衡砂・平衡膜・平衡毛の動きにより、刺激が神経に伝えられ平衡覚として認識される。	5章 身体機能のメカニズムとアセスメント ■9 聴覚 1 聴覚のメカニズム

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
依存による自立 (9分40秒)		交通事故により車椅子生活となった事例をもとに、地域の中で独立した生活を送っている様子を紹介する。	6章 心理社会的なアセスメントと援助 ■ 1 肯定的な自己概念：障害受容 2 自己概念と障害受容
歩行補助具 (5分57秒)		歩行を補助する「車椅子」「歩行器」「杖」について、障害とADLを照らし合わせた適切な導入と使い方を紹介する。	6章 心理社会的なアセスメントと援助 ■ 4 居住環境 3 居住環境の特徴を踏まえた援助
生活内容・健康状態のアセスメント (14分11秒)		90代女性を例に、日頃の生活の様子（食事や清潔、排泄など）や健康状態についてのアセスメントを行う。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 2 ICFに基づくアセスメント 1 ICFによる生活機能と障害のアセスメントの視点
起居動作の介助 (4分54秒)		麻痺のある患者の起居動作の介助にボディメカニクスを取り入れて、安全・安楽に看護援助するコツを学ぶ。全介助と半介助を例に解説。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援（学習支援）
右麻痺患者のADL支援 (ベッドから車椅子への移乗) (2分33秒)		右片麻痺患者のベッドから車椅子への移乗を支援する。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援（学習支援）
嚥下リハビリテーション (7分53秒)		摂食・嚥下には30種類以上の筋や神経が協調して関与している。これらの機能回復を図るため、リラクゼーション、マッサージ、構音訓練などの嚥下リハビリテーションを実施する。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援（学習支援）
食事動作 (3分10秒)		片麻痺患者の食事動作の介助の実際や有用な介助具などを紹介する。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援（学習支援）

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
右麻痺患者のADL支援 (更衣) (3分13秒) ▶▶▶		右片麻痺患者の更衣を支援する。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援(学習支援)
右麻痺患者のADL支援 (車椅子から便座への移乗) (2分16秒) ▶▶▶		右片麻痺患者の車椅子から便座への移乗を支援する。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援(学習支援)
右麻痺患者のADL支援 (便座からの立ち上がり) (1分41秒) ▶▶▶		右片麻痺患者の便座からの立ち上がりを支援する。	7章 生活の再構築へのアセスメントと援助 ■ 3 生活の再構築のための支援 4 活動・参加促進に向けたADL支援(学習支援)
脊髄(頸髄)損傷患者 の更衣 (8分10秒) ▶▶▶		45歳男性の頸髄損傷患者(C6損傷)をモデルとして、更衣の介助の実際を紹介する。	8章 事例で学ぶリハビリテーション看護 ■ 4 脊髄損傷患者の看護
くも膜下出血患者の 看護 (2分40秒) ▶▶▶		くも膜下出血患者の看護のポイントや注意点について解説する。	8章 事例で学ぶリハビリテーション看護 ■ 5 高次脳機能障害患者の看護 2 介入計画
ALS患者からの メッセージ (6分40秒) ▶▶▶		東京都に住む佐々木公一さんは、現在67歳で、40代後半からALSを患っている。「工夫して頑張れば何でもできる、このことを広く訴えたい」と語る。	8章 事例で学ぶリハビリテーション看護 ■ 6 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の看護 2 介入計画
福祉機器の一例 (3分29秒) ▶▶▶		ALS患者・佐々木公一さんが用いる福祉機器、特にコミュニケーション機器とそれらを利用した生活を紹介する。	8章 事例で学ぶリハビリテーション看護 ■ 6 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の看護 2 介入計画

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
関節リウマチの自助具 (6分29秒) ▶▶		関節リウマチの患者が関節可動域制限や手指変形を呈すると、日常生活動作や家事などが行いにくくなる。その際に役立つ自助具を紹介する。	8章 事例で学ぶリハビリテーション看護 ■ 7 関節リウマチ患者の看護 3 看護の実際
関節リウマチの運動療法 (4分44秒) ▶▶		関節リウマチの患者は、炎症症状の進行に伴い全身的に屈曲位優位の不良姿勢をとることが多くなる。不良姿勢の出現と進行を予防するための運動を紹介する。	8章 事例で学ぶリハビリテーション看護 ■ 7 関節リウマチ患者の看護 3 看護の実際
脳卒中急性期にある人の看護 (8分) ▶▶		茨城県の大学附属病院の急性期看護の一例を紹介する。ここでは脳卒中急性期の患者に対する看護について取り上げる。	9章 地域におけるリハビリテーション：脳血管疾患患者のケアの連携事例 ■ 1 脳血管疾患患者の看護（急性期） 1 はじめに
脳卒中回復期にある人の看護 (4分25秒) ▶▶		脳卒中回復期にある患者への看護について、リハビリテーションチームとの連携やセルフケア再獲得に向けた関わりを提示する。	9章 地域におけるリハビリテーション：脳血管疾患患者のケアの連携事例 ■ 2 脳血管疾患患者の看護（回復期～生活期） 1 はじめに
脳卒中家庭復帰期にある人の看護 (8分25秒) ▶▶		社会生活レベルのセルフケア再獲得段階である脳卒中家庭復帰期の患者とその家族へのサポートを紹介する。	9章 地域におけるリハビリテーション：脳血管疾患患者のケアの連携事例 ■ 2 脳血管疾患患者の看護（回復期～生活期） 1 はじめに